

事務事業評価表 平成24年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その2
 基本事業 施策の総合推進その2

事業名 **議員改選関連経費**

[0582]

| | | | | | |
|----|-------|--------|--------|----------|------|
| 部名 | 議会事務局 | 事業開始年度 | 平成23年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 庶務係 | 事業終了年度 | 平成23年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | (誰、何に対して事業を行うのか) 議会議員 |
| 意図 | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 当選議員が、調査や議会活動を迅速かつ円滑に開始できるよう早期に整備する。 |
| 手段 | (事務事業の内容、やり方、手段) 議会活動に必要な物品の整備や会議等のため控室の改修を行う (議員章交付、氏名表示作成、被服貸与、手引き作成配付、会派控室間仕切り工事等) |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|----------|----------|--------------|----------|
| 区分 | | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度当初 |
| 対象指標1 | 議員数 | 人 | | | 27 | 0 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 整備項目数 | 項目 | | | 27 | 0 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 整備の割合 | % | | | 100 | 0 |
| 成果指標2 | 整備完了までの日数 | 日 | | | 153 | 0 |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 0 | 0 | 3,515 | 0 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 0 | 0 | 5,618 | 0 |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 0 | 0 | 9,133 | 0 |

| 費用内訳 | |
|------|---|
| 23年度 | 需用費 506千円、役務費 107千円、委託料 105千円、工事請負費 1,476千円、備品購入費 1,322千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | | |
|--------|---------|--------------------------------------|-------------|---|
| 事業開始背景 | 統一地方選年度 | 平成15年度 平成19年度 平成23年度 平成27年度 | 事業を取り巻く環境変化 | 社会の変化と共に議員から環境整備に対する要望も多様化し、限られたスペースと厳しい財政状況の中で対応が難しくなっている。 |
| | 次回 | | | |

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由・
根拠は？

議員として円滑な活動を確保するための整備は必要である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由・
根拠は？

なし

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由・
根拠は？

4年ごとの業務であり、整備方法を変えることは難しい。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

実施から完了までの期間が短いため、難しい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由・
根拠は？

会派の再編や新人議員に係る必要な経費で削減は難しい。